



生 活環境衛生の改善に尽力 ～県生活環境改善事業功労者県知事表彰～

6月24日、濱田信子さん（頰娃町）、南部貞子さん（川辺町）が鹿児島県生活環境改善事業功労者県知事表彰を受賞しました。二人は市および各地区衛生自治団体連合会の役員を長きにわたり務め、事業の推進、地域の環境保全および環境美化、地域住民の環境意識の向上に貢献され、南九州市の生活環境衛生の改善に尽力されました。今回、その永年の功績を称えられ表彰されたものです。



▲表彰状を手にする濱田信子さん（左）と南部貞子さん（右）

地 域づくり活動が受賞 ～大久保集落営農組合（川辺町）～

7月14日、南薩地域振興局でなんさつ地域づくり活動の表彰式があり、本別府の大久保集落営農組合が地域づくり部門を受賞しました。代表の東敬一郎さんは「これまで地域のために活動してきたことが評価されておりありがたい。地域には高齢化・担い手不足など課題はあるが、これからも大久保の皆さんと話し合いながら一つ一つ取り組んでいきたい」と話しました。



▲表彰を受けた大久保集落営農組合の方々（前列右から1人目と2人目）

青 年団の活動を表彰 ～県青少年育成県民会議表彰～

7月15日、県青少年会館において、鹿児島県青少年育成県民会議表彰の表彰式が行われ、南九州市連合青年団が団体の部で表彰されました。今回の表彰は、青年団の主催事業や地域イベントへの参加など、地域に密着した活動や貢献度が認められたものです。団長の松園宏貴さんは、「表彰は団員の励みにもなる。これからも地域のために、みんなが楽しくなるような活動をしていきたい」と話しました。



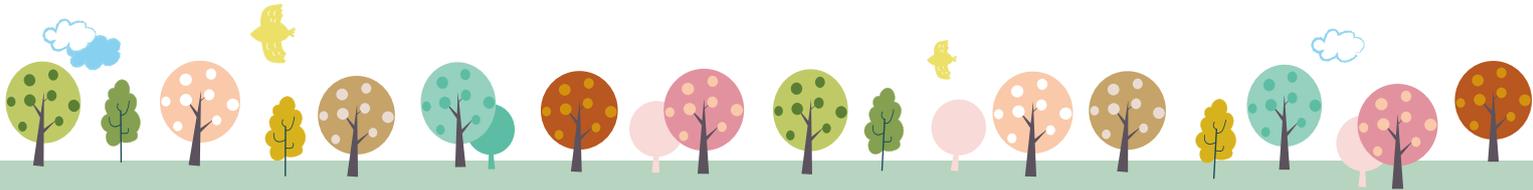
▲表彰を受けた皆さんと記念撮影を行う松園団長（後列左から3人目）

平 和事業に活用してください ～知覧特攻平和会館に寄付金～

6月27日、元プロ野球選手で現在はタレントとして活躍している長嶋一茂さんが知覧特攻平和会館を訪れ、運営する会社の(株)ナガシマ企画と、一緒に訪れた(株)プレシャスランド、(株)アーバンスピリットの3社より、南九州市長に200万円の寄付金が手渡されました。長嶋さんは、「今の平和な時代があるのは、特攻隊の英霊の方々のおかげ。寄付金は平和事業のために活用してください」と述べました。



▲写真中央が長嶋一茂さん（撮影のため、マスクを外しています）



母 校にAI温度検知器を寄贈

～穎娃町出身の吉永幸徳さん～

7月22日、鹿児島市で会社経営の吉永幸徳さんより自社で販売している「AI温度検知ターミナル」を宮脇小学校と穎娃中学校に1台ずつ寄贈しました。吉永さんは両学校の卒業生で、母校に役立ててほしい思いから寄贈しました。温度検知器は手首をかざす温度検知で、瞬時に検温ができて多くの生徒・先生方が利用できます。穎娃中学校の橋野校長は「生徒が健康管理を意識するきっかけになれば」と感謝していました。



▲母校に温度検知器を寄贈した吉永幸徳さん（右）

豊 作を願ってお田植え祭り

～飯倉神社お田植え祭り～

7月5日、川辺町宮の飯倉神社で、豊作を祈るお田植え祭りが開催されました。例年、多くの観覧者が訪れ、勇壮な棒踊りや早乙女らの田植え、田の神舞が奉納されますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、神社での祭典、御神田でのお田植え神事のみで開催となりました。



▲御神田でのお田植え神事の様子

コ ロナ退散の願いを込めて

～霜出地区瀬世中自治会「サガデコ」～

7月18日、霜出地区の瀬世中自治会に伝わる伝統行事「サガデコ」が行われました。地域に伝染病の病魔が入ってこないようにとの願いを込めて、縄にヤツデの葉と稲穂を付けたしめ縄を地域の入口に飾り、子どもたちが集落内を練り歩く行事です。コロナ禍の今年は、地区公民館の主催で、霜出小学校の正門と裏門にもしめ縄を飾りました。



▲霜出小学校の正門にも子どもたちとしめ縄を飾りました。

子 どもたちの笑顔を見たいから

～食を通じてボランティア～

(有)ヒルフィールドカンパニーの(代)岡野幸二さんは、コロナ禍で子どもたちが少しでも笑顔になってもらい、客足減少による従業員の元気を取り戻そうと、7月19日から3回にわたり、川辺牛100%のハンバーグ弁当100食を子どもたちへプレゼントしました。会場では終始笑顔が溢れ、コロナ禍を忘れるひと時でした。



▲弁当100食を子どもたちへプレゼントしました。

地 域に貢献する高校生

～第39回高校生ふるさと大会～

8月1日、知覧平和公園にて、高校生ふるさと大会が行われました。本大会は、市高校生クラブが中心となり毎年行っているもので、今回は規模を縮小し、清掃ボランティアのみを実施しました。会長の東垂水太陽さんは、「少しでも地域に貢献する活動ができて良かった。」と話しました。



▲市女性連から手作りマスクの寄贈があり、そのマスクを着けて活動を行う高校生クラブ会員